

# 松風会 NEWS

(ゆめクラブ News) 420号 2021年(令和3年)8月号

今年の5～6月には平年より多くの夏日(25℃)があり、暑い日が続いていましたが、関東地方も昨年より4日遅く6月14日に梅雨入りしました。公園や庭先などには雨に似合うこの時期に「あじさい」が白、青、ピンク、紫などの綺麗な花が丁度見頃で、「巣ごもり生活」の私達の気持ちを癒してくれています。他方、コロナの感染状況は感染力の強い変異ウイルスが出始めたこともあって、東京、神奈川などは感染者の下げ止まりから「7月11日までの緊急事態」を数週間程度「蔓延防止策」に切り替えと、依然として警戒が継続しており、楽観は禁物の様です。この7月23日には1年延期のオリンピックがともかくも開催されますので、自粛生活ながらのテレビ観戦で気分を少しでもリフレッシュしましょう。梅雨はこれからが本番ですので、大雨などの災害に注意して下さい。

**7月度の定例会(7月10日)は中止とします。**自治会館は7月1日から使用できますが、各位にはワクチン接種の予定などもあることへの対応ですのでご了承下さい。ただ、「お楽しみ会」(月—13:00～16:00、金—11:00～14:00)の囲碁、将棋、麻雀については当面は中止としますが、ワクチン接種を終了された方同士であれば、会館利用条件に従ってお楽しみ下さい。特に一都3県の感染では日々微増している状況下、感染防止の基本、マスク着用、手洗い、「3密」回避、の徹底をくれぐれもお忘れなきよう願います。

## 連絡事項

- ① 8月誕生の方々： 斎藤昌子さん、石塚良雄さん、佐藤善忠さん、有元佳子さん、池田富士夫さん の 方々です。おめでとうございます。(お祝い品は各班長さんからお受け取りください)
- ② 茅ヶ崎市老連情報:7月7日に代表理事のみの参加で定例会が開催され、検討された議題です。コロナの感染状況で開催されるかどうかはわかりませんが、現段階では、9月8日(水)から10日(金)に茅ヶ崎市老連「趣味の作品展」開催、第19回グラウンド・ゴルフ大会が9月1日(水)・3日(金)に円蔵スポーツ広場で開催予定です。

リレー随筆(10)

松尾守人

## 人生いろいろ — 散歩あれこれ

私は退職を機に散歩を勧められ今年で10年、散歩はいいものだとは日々感じています。私の歩くコースはスリーハンドレッドの坂道、殿山、浄見寺、ゴルフ場周辺と毎回大きな変化なく、気分次第で時に距離を短縮し、週に1、2回一人、気ままに歩いています。同じ行程だと、注意するところが分かり、また交通量の少ない道が多いのでのんびり歩けます。また、四季豊かな当地の鶯、新緑、紅葉、枯野等にも気づきやすいです。途中で、富士山丹沢、箱根、伊豆の山々、江の島、大島等が眺望できた時は立ち止まり、じっと見ていると幸せな気持ちと心穏やかになります。また、時には過去の思い出等が沸きあがります。特に雪を被った富嶽の雄姿は最高です。ほれほれします。我流に歩いていますが、ただ気を付けていることは胸を張り、背伸ばし、目先は少し先を見るように心がけています。しかし、癖で前かがみになることが多々あり、気がつけば背中を伸ばします。また、周辺の緑、特にゴルフ場貫く公道の「緑の壁」が眼の疲れ回復になります。これからも、四季の変化を感じつつ気楽に事故なく散歩を楽しみたいと思っています。

(次回は立花さんをお願いします)

## 最近一番"オッタマゲタ"事

『女子ゴルフの笹生優花さんが世界最高峰のメジャー大会である全米女子ゴルフオープン選手権で畑岡奈紗さんにプレーオフで勝ち優勝を決め、賞金100万ドル(1億1千万円)を獲得した』とのニュースに本当に驚きました。笹生さんは19歳。フィリピン生まれ。父は日本人、母はフィリピン人。子供の頃からお父さんの体感を鍛える厳しいトレーニングをこなし、ドライバーの飛距離は280ヤードと男性に引けを取らないと言う。笹生さんは日本とフィリピンの2つの国籍を持ち、来る東京五輪ではフィリピン人として出場予定との事。畑岡さんの『奈紗』はアメリカ航空宇宙局(NASA)に因み『全人未踏のことをするように』との思いを込めて命名された。日本女子の海外メジャー制覇は樋口、波野について3人目。ところで、フィリピンの首都があるルソン島。『ルソン島の意味をご存知ですか?』

## コロナ後

7月末までに2回目のワクチンが終わると、私どもは、長いコロナの恐怖から解放されることになる。長い長い戦いが終わるが、隠遁生活では新たな気づきもあったであろう。一日中、家にいると他の人とのコミュニケーションがいかに重要かがわかった。コロナ下では、直接的会話は出来ず、もっぱらメールや電話になるが、それも訃報や病気など重要なものだけしかこない。コロナ前は旅行、飲み会、麻雀カラオケなどいろいろやっていたので話題は尽きなかったが、コロナ下では話す話題さえない。終息後は、皆、ブランクを取り戻すために、2倍以上は動くし、遊ぶであろう。それについて、コミュニケーションも倍増するから、あまりにも忙しすぎて、かえって隠遁生活を懐かしむかもしれない。



中国北京市：紫禁城と人民会場（真野さん提供）

世界遺産：日本シリーズ 長崎 軍艦島  
一鉄鋼、造船 などの明治期の産業を代表